

平成30年度  
北海道高等学校英語研究会  
「授業力向上ワークショップ③」  
2020年に向けて  
～技能統合を意識した  
段階的指導～  
北海道札幌国際情報高等学校  
英語科 佐々木 晃

平成30年8月10日(金)

13:25～14:50

# 本日の説明内容

- 1 話す・聞く→読む
- 2 (音読)→話す→書く
- 3 口頭英作文(立ったり、座ったり)  
同時通訳練習 \* おまけ

# 本日の説明内容

- 1 話す・聞く→読む

# 基本の流れ

SまたはL → R → 音読

- ①音から入る
- ②概要→詳細へ

# 聞く→読む①

## リスニングのテキスト

- 1 配布
- 2 質問を読む(聞くために読む)
- 3 リスニング
- 4 ペアで相談→スクリプト配布(ペアに1枚)
- 5 解答

# 聞く→読む②

## 教科書

### 1 L(TF)→概要の把握

\*TFをサマリーから作る。

\*質問は簡単でいい。

### 2 R(詳細の把握)

# DAY 1

- 0 WARM UP
- 1 SMALL TALK  
(2 単語練習)
- 3 ORAL INTRODUCTION
- 4 LISTENING
- 5 READING→できた人課題
- 6 ペアで相談→答え
- 7 OVERLAPPING
- 8 できた人課題の続き

# 聞く→読む③

- ① オーラルイントロダクション
- ② リーディング①②



# 話す・聞く→読む

レッスンの内容に関連するトピックを使い

- ① SMALL TALK
- ② (リスニング)→リーディング

# ポイント

- 1 知的にハングリーにするためにリスニング活動を行う。
- 2 内容に関心を持たせるために SMALL TALK や ORAL INTRODUCTIONを行う。
- 3 「聞くために読む」、「読むために聞く」と活動をつなげる。

# 本日の説明内容

2 (音読) → 話す → 書く

# 読む→(音読)→話す・書く

読む活動は活動時間に差が生まれるので、終わった生徒のために次の課題を用意する。



- ① できた人問題(難易度高いもの)
- ② 宿題など。
- ③ 4コマ漫画
- ④ サマリーライティング
- ⑤ Graphic Organizer
- ⑥ 簡単なポスター(カットアウトピクチャー)  
・壁新聞

この半宿題を用いて、

- ① 次の時間・音読の後、話す・書く活動を行うことができる。
- ② 半宿題にして、レッスン終了後に作品評価をすることもできる。

④サマリーは次回回収する。

\* DAY1で終わりたいとき

読む→(音読)→話す・書く

④ 壁新聞



章の終了後に回収



作品として評価

読む→(音読)→話す・書く

④ カットアウトピクチャー



章の終了後にグループで  
ポスターセッション



読む→(音読)→話す・書く

③ 4コマ漫画

⑤ Graphic Organizer



次の時間までに必ずやってくるように指示する。  
リテル等のビジュアルエイドにする。

# DAY2 発表系

- 1 WARM UP①
- 2 SMALL TALK等
- 3 音読
- 4 壁練習(個人練習)
- 5 リハーサル(ペア)
- 6 弱点練習(個人)
- 7 発表
- (8 話したことを書く)

# 技能統合のメリット

- ① 同じ教材を用いて、同時に技能を鍛える。
- ② 時間の節約になる。
- ③ 書く活動を半宿題としてうまく使うと授業の空白を禁止できる。
- ③ 教材をリサイクルすることで、スパイラルに技能を高めることができる。

# 本日の説明内容

## 3 口頭英作文(立ったり、座ったり)

# 口頭英作文(立ったり座ったり)

- ① 休み時間:あらかじめ板書
- ② 2人ペアを作る
- ③ 導入する文法・語法の意味・形を確認
- ④ 立ったり・座ったり

# こつ

- 文法書の例文を帯活動で暗唱しつつ  
この活動を行うと忘れにくくなるので効果的。

# 同時通訳練習

- ① EYE SHADOWING→OVERLAPPING (CD, JTE)
- ② ペアでOVERLAPPING
- ③ READ & LOOK UP
- ④ 同時通訳練習
- ⑤ 全体で確認

世界人類が平和でありますように！



EMAIL: [hikatanryochankanikani2525@gmail.com](mailto:hikatanryochankanikani2525@gmail.com)